

令和7年度 子どもの居場所づくり推進事業にかかる目標及び実績について

課題の類型 1	学校と家庭の課題
課題の類型 2	放課後等における多様な体験活動
背景・現状・課題の詳細	共働きやひとり親家庭の増加により、放課後や休日に一人でスマホやゲームをして過ごす子どもが多い。
解決のために本事業で取り組むこと	各公民館及び地区館に指導員を置き、毎週土曜日に「子ども未来塾」を開講し、学習支援や体験学習を行う。
本事業で達成する目標	公民館や地区館が子どもたちの居場所となるとともに、「子ども未来塾」以外でもイベントや体験活動に興味を持ち、参加する児童が増える。
目標の達成を測る指標	町主催の体験活動（ジュニアリーダークラブ等）に参加する児童の割合
本年度の目標	30%
本年度の実績値	36%
評価	・ジュニアリーダーの活動に参加する小学生が増加した。 ・アウトドア研修や雪国体験、釣り体験などの自然体験は人気で、小学生の参加が増えた。 ・子ども未来塾においても、いちご大福づくりやクリスマスコンサートへの出演など多様な体験活動を行い、多くの小学生が参加し、公民館や地区館を居場所とする子どもも増加した。